

市長の施政方針に対し 各会派から代表質問



通常は3月定例会で行われますが、統一地方選挙に当たる年は6月定例会で行います。

録画配信でチェック！

パソコンやスマートフォンなどで、市議会ホームページから録画をご覧いただけます。京田辺市議会 インターネット中継 で検索
質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。



令和元年度 京田辺市 施政方針演説

基本理念

「みんなが住み続けたいと思えるまち」

3つの大きな柱

- 「京田辺に住む人の生活の質を向上させる」
- 「京田辺を世界(次世代)に誇れるまちにする」
- 「京田辺で文化を育てる地域経済をつくる」

5つの重点政策(抜粋)

■ 生み育てて良かったと思える 子育て支援と人づくり

- 待機児童が発生しない仕組みづくり
- 中学校完全給食の早期実現と地産地消等の食育推進
- 通学路の安全対策(地域・学校・行政が一体となる取り組み)

■ 市民協働による 安全・安心な地域のまちづくり

- 市民と意見交換ができる仕組みづくりの検討と、地域の課題解決ができるように市民協働を進化
- 市民ボランティアと連携した危機管理体制下での防災・減災対策

■ 誰もが安心して暮らし続けられる 支え合いづくり

- 「子育て世代包括支援センター」の機能を生かした子どもと保護者のサポート体制
- 「地域包括ケアシステム」の推進による在宅医療のシステムづくり
- 「地域ケア会議」による介護サービス以外も取り入れた柔軟なサービスの活用検討

■ まちの利点を生かした 産業振興と未来への基盤づくり

- 温室効果ガス排出削減推進や市民・大学・企業と連携した再生可能エネルギーの利用促進などによるエコな暮らし・事業活動の推進
- 「南田辺東・西地区」の事業化と学研都市の建設促進による地域振興・経済発展につながる施設誘致

■ 時代の変化に対応した 新たな都市づくり

- 田辺中央北地区での新市街地整備と新田辺駅東地区の再整備の促進による、あらゆる年代の市民が便利に暮らせるまちづくりの推進
- 未整備の都市計画道路の事業化検討
- 市内立地企業との連携による公共交通利用促進

新幹線新駅設置について 答 早期整備に向け取り組みを

自民一新会

(久保 典彦 議員)



北陸新幹線



○市長は先般の市長選挙公約では、北陸新幹線について経済効果を十分検証し、整備の是非を考えるとされておりました。しかし、このたび施政方針では新駅設置を最大限まちづくりに生かしていきたいと述べられております。北陸新幹線の新駅設置は、受け入れることを前提にまちづくりを検討すること、か市長の考えは、

(市長) 本市の将来や持続的発展に不可欠な発展要素と考えておりまして、新幹線整備効果を最大限まちづくりに生かすためにも、今後も府や南都市町村と連携し、早期整備に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えています。

○市長が考える新たな自主財源確保に向けた取り組み

とは何か。

(市長) まずは大住工業専用地域の拡大事業の早期事業化に取り組んでまいりたい。

○児童・生徒数については、特に三山木小学校や田辺中学校においては増加が予測されておりまして、増加による教育環境の具体的な整備について市の考えは、

(教育部長) 三山木小学校、田辺中学校とも一時的に教室数が不足するの見込んでおり、三山木小学校につきましては令和元年度に仮校舎の建設に着手するところしており、田辺中学校につきましても現在仮設校舎の検討を行っている。



ヒバクシャ国際署名

(5面右1段目)

「後世の人が何が生き地獄を体験しないように、生きていくうちに何としても核兵器のない世界を実現したい」という思いから、被爆者たちが始めた国際署名運動。

ワールドマスターズゲームズ

(7面2段目)

原則30歳以上なら参加登録さえすれば、出場できる生涯スポーツの国際総合競技大会。

プログラミング教育

(8面左4段目)

2年度から実施される新しい学習指導要領に盛り込まれ、小学校で必修化される。プログラミング体験学習を通じ、論理的な思考力を育てるとともに、幼いころからプログラムの世界に触れ、ITに強い人材を育成する狙いがある。

ブランドینگ

(10面左8段目)

ブランドを構築するための組織的かつ長期的な取り組みのこと。